

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トータスキッズ もりのいえ		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 11月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	8
○従業員評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 11月 15日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個々に合わせた環境や課題の設定ができる ・専門的なアセスメントの基に計画が作成され、日々の支援がチームで行われている。	・個別支援計画の検討会議のほか、指導の内容を記録でも確認でき、指導員間でも伝え合うことが出来ている。 ・指導リーダーが適宜確認を行なっている。	面談に担当も同席できると良い。
2	保護者と協力して支援に取り組み、保護者サポートも日々行っている。	・子育てサポート支援の活用や指導後の説明時などを活用をしている。 ・保護者会を定期的に行い、横のつながりも広げている。	
3	保護者会や地域イベントなど、地域に開かれた活動を行っている。	支援者研修、地域交流会、地域イベント、シンポジウム開催など。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に向けた活動で、地域の他の子どもとの交流を行っていることが保護者に伝わっていないことがある。	開催することのみのお知らせで、その中の意図まで伝えていない。	事前告知、開催報告等の中に意図していること（地域で活躍できるステージを作っているなど）も含めて、お知らせをする。
2	ヒヤリハットがうまく活用されていない。	すぐに記入できる仕組みになっていない。	窓の転落防止策を講じる。棚の上に滑り止めシートを貼る。 日誌の形態を変え、記入しやすい仕組みにする。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 トータスキッズ もりのいえ

公表日 2025 年 3 月17 日

利用児童数 7 2024年 11月 15日

回収数

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	2	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	1	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	0	1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	0		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	7	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	7	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	6	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	6	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	1		
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0		
満 足 度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
トータスキッズ もりのいえ		2025 年 3月17 日				
	チェック項目	はい	いいえ	不明	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	0		・本館が階段上がつて3階にある。トイレの入り口に段差がある。 ・設備上難しいところもありますが、そのお子さんの特性に合わせてできる範囲で配慮をさせていただいております。 ・窓の転落防止対策ができると良い。 ・荷物置き場などは工夫したい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	0		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	0		定期的に時間を確保できると良い。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2	0		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	0	内部研修が開催される機会や外部への研修参加への補助も確保されており、学びやすい環境だと思います。	定期的に時間を確保できると良い。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	0		計画をケース会議で振り返ることも必要かも。指導案フォーマット作成中。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	0		

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	0		
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	0	個別療育がメインであるため個別のみのお子さんは集団と組み合わせることは難しいですが、集団クラスでは適切に成されているとおもいます。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	3	・支援については毎回直接話せないこともあるが、記録を伝達手段として活用し確認しあっている。 ・必ずではないが行えている。定期的に時間を確保できるとよい。 ・毎回ではないが、必要なことはできている。 ・その日ではないが打ち合わせはできている。 ・個別支援なので毎回の打ち合わせではありませんが、支援内容の共有や連携は行えているとおもいます。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	3	・支援記録を伝達手段として活用・確認しながら、必要な分を口頭でも打ち合わせしている。 ・その日とは限らないが、適宜振り返りや打ち合わせを行なっている。また、指導リーダーからの助言もある。 ・必ずではないが行えている。定期的に時間を確保できるとよい。 ・毎回ではないが、必要な場合は次の支援までに行なっている。 ・その日ではないが振り返りはできている。 ・個別支援なので毎回の打ち合わせではありませんが、支援内容の共有や連携は行えているとおもいます。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	0		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	0	専門職員が定期的に指導のモニタリング・アセスメントし、計画や指導内容の見直しを行う工夫ができていますと感じます。	定期的に時間を確保できるとよい。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	0		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	0		
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	0	保育所等訪問支援を利用されている保護者や、関係機関からの依頼がある場合行われている。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	1	・全員ではないが必要な子どもについては移行先と会議を設けたり、保護者のイエローファイル作成の相談・助言の機会を設けたりしている。 ・保護者から依頼がある場合行なっている。 ・全員とは限らない ・保護者が望む場合	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					

	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	3	0		その機会がない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	3	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	0		随時ご希望があれば対応。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0	0		兄弟同士は今の所ありません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	0	0		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	2	2		・該当者なし ・服用や予防接種は全てを把握することはしていないが、指導に関わることは共有している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	5		・基本的に食べ物の提供はしていない。 ・食事の提供なし。 ・基本飲食の提供はないが、する際は保護者の同意を得ている。 ・食事の時間を設けていない。 ・食事の提供はしていない。 ・事前アンケートは取っているが、その機会がない。 ・対応する場面がない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	0		棚・ロッカーの上に荷物やおもちゃを置くことがあるため、滑り止めシートなどを貼ると良さそう。

50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	0		
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	2	0		・気づいた時に伝え合っているが、全職員への共有は改善の余地があり。 ・職員研修はあるが、実践に繋がりがきてい
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	0		